

V施工(18. 内装工事) ①せっこうボード

- ・天井を石こうボードで二重張りとする場合、上張りの継目と下張りの継目が同位置にならないようにした。
- ・せっこうボード張りの遮音性を確保するため、せっこうボードの周辺部隙間に弾性シーリング材を充填した。
- ・せっこうボードの目地処理を継目処理工法で行う場合、せっこうボードのエッジの種類は、テーパーエッジとする。
- ・壁面のせっこうボード接着材による直張り工法で、接着材の塗付け間隔は、ボード周辺部で150~200mmとする。
- ・バベルエッジの目地処理は、ジョイントテープとジョイントコンパウンドとを用い、幅500~600mmの範囲で行った。
- ・せっこうボードを鋼製天井下地に取り付ける場合、ステンレス鋼製ドリリングタッピングねじを使用した。
- ・壁面におけるせっこうボードのせっこう系直張り用接着剤による直張り工法において、床面からの水分の吸上げを防ぐため、スペーサーを置き、せっこうボードを床面から10mm程度浮かして張り付けた。
- ・化粧せっこうボード張りの軽量鉄骨天井下地の吊りボルトの間隔については900mm程度とし、天井の周辺部については端から150mm以内に配置した。

